



調査からわかったこと

エコチル調査北海道ユニットセンターの参加者のみなさまにご回答いただいた質問票から、調査結果の一部をご紹介します。

エコチル調査では、2歳以降年に1回お子さんの食事調査を行い、食物アレルギーの有無とその症状についてお答えいただいています。今回は、7歳質問票の回答を集計しました。(なお、このデータは2022年7月4日現在の回答に基づく暫定的な数字です。回答数:5,674)

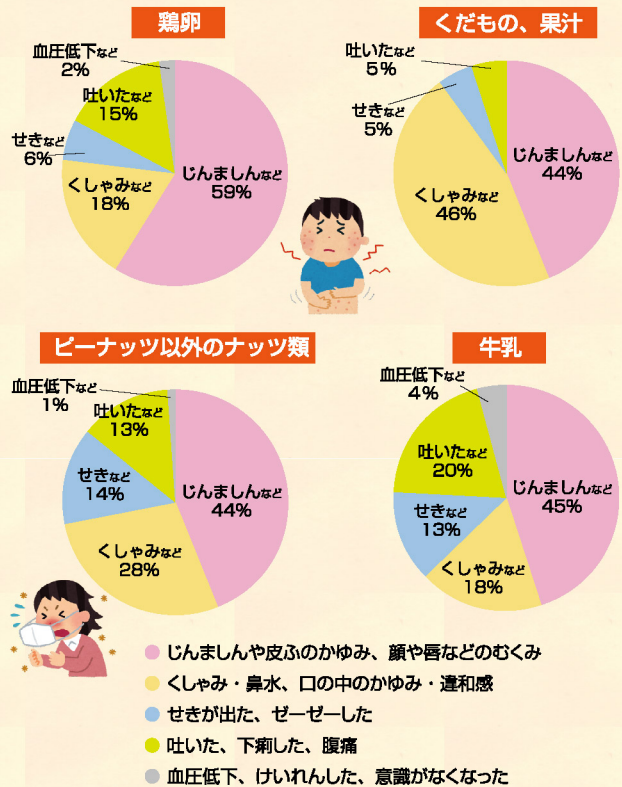
実際に食べてアレルギー症状が出た食品

鶏卵のアレルギーがあるお子さんが最も多く、全体の4%でした。くだもの、果汁アレルギーが1.8%、ピーナッツ以外のナッツ類が1.1%と続き、牛乳を含めたその他の食品は1.0%以下という結果でした。米に対するアレルギーがあるお子さんは1人と極めて少なく、安心して食べられる食品といえるようです。なお、この集計結果は、医師によるアレルギーの診断によるものではなく、日常の観察によるものです。

| | 食品 | アレルギー症状が出たと回答した人数 (%) |
|----|----------------------|-----------------------|
| 1 | 鶏卵 (たまごを含む食べ物) | 225 (4.0%) |
| 2 | くだもの、果汁 | 104 (1.8%) |
| 3 | ピーナッツ以外のナッツ類 | 60 (1.1%) |
| 4 | 牛乳 (ヨーグルト、チーズ等含む) | 54 (1.0%) |
| 5 | 甲殻類 (えび、かに等) | 39 (0.7%) |
| 6 | ピーナッツ | 31 (0.5%) |
| 7 | 小麦 (うどん、パン等) | 19 (0.3%) |
| 8 | 魚 | 18 (0.3%) |
| 9 | そば | 18 (0.3%) |
| 10 | 大豆 (豆腐、納豆等) | 6 (0.1%) |
| 11 | ごま | 5 (0.1%) |
| 12 | 米 (おかゆ、せんべい等含む) | 1 (0.0%) |

実際に出たことがある症状

アレルギー症状としては、主にじんましんなどの皮膚症状、くしゃみや口の中のかゆみなどの粘膜症状、せきなどの呼吸器症状、嘔吐・下痢などの消化器症状、血圧低下などのショック症状があります。くだもの、果汁以外の11食品で最も多い症状は皮膚症状で、アレルギーの代表的な症状といえます。くだもの、果汁は粘膜症状が最も多く見られました。また、消化器症状が20%を超えた食品は、牛乳のほか魚と大豆でした。アレルギーが出た食品のうち、上位4つの食品について実際に出た症状の内訳を紹介します。



アレルギーの血液検査って受けた方がいいの？



症状が全くない人にはおススメできません

血液検査のみで診断をすることはできません。アレルギー症状の診断に最も重要なのは、症状の出現した詳しい経過です。



食事調査は8歳以降の質問票でも実施しています。みなさまにお答えいただくことで、年齢があがるにつれて食物アレルギーの状況がどのように変化するのがわかります。今後そうした推移もご報告したいと思います。引き続き質問票へのご回答をよろしくお願いいたします。